

# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (1) 社会実験の取組の経過について

### 社会実験の目的

ビジョンのキーワードである「水辺や景観を楽しめる街」と「人中心の街」の実現に向けて、『居場所のあり方』と『環境のあり方』を検証



### 社会実験の実施方針

#### 実施方針①

プレイスマネジメント  
(居心地・居場所のあり方の検討)

居心地の良い場づくりと多様なアクティビティ

連動

2つの実施方針を連動させながら社会実験を実施

#### 実施方針②

アクセスマネジメント  
(巡りやすさなどの検討)

歩車分離・歩車共存などの移動環境の快適性

### 段階的な社会実験の取組

#### 項目

#### 内容

#### 実施結果

#### 課題

#### Step 1

はだのの  
ミライラボ  
(R5.11 土日)

- ・パラソルや人工芝などによる居心地良い空間の創出
- ・模擬店や音楽発表による魅力ある空間の創出
- ・土日開催

- ・水無川に親しめ、居心地良く多様な活動の場に対するニーズが高かった
- ・継続開催に向けた機運の高まり

- ・継続に向けた仕組みづくり
- ・歩車共存のあり方の検討（土曜日は規制区間周辺で渋滞が発生した）
- ・水無川沿い以外へのにぎわいの波及

#### Step 2

はだのの  
ミライラボ  
2024夏  
(R6.8 日曜)

- ・模擬店の出店や商店街事業との連携、スタンプラリーの開催
- ・日曜開催
- ・規制区間から離れた交差点に迂回周知の看板設置

- ・引き続き居心地の良い空間へのニーズの高さを確認
- ・運営に関わる団体や店舗が増加
- ・前回の結果を踏まえ日曜日のみに開催し交通影響を最小限にできた

- ・継続に向けた仕組みづくり
- ・行政と地域の連携強化

Step 3へ

# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (2) 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験の概要について

### 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験

#### Step 3

#### 社会実験の背景

- ・過去2回の市道6号線における社会実験の次のステップとして、市道6号線の車道と歩道の割合を再配分することの検討
  - ・平成17年の水無川沿い両岸の一方通行化社会実験のとりまとめ結果を踏まえた今後の取組の検討
- 「水無川沿い道路の一方通行化や人のための空間創出は、まちの魅力を高め、活力にあふれる安全で快適なまちづくりに大きく貢献する施策として、実現に向けて積極的に取り組むべきもの」、「空間再配分の検討には、水無川左岸が適している」
- ・通行する自転車が多く、自転車通行帯を設けてほしいという近隣店舗やバス利用者の声
- ・県道705号の相互通行開始を控え、駅前交通のあり方の検討

#### 目的

秦野駅北口周辺まちづくりビジョンで描く水無川沿いの将来像の実現可能性を検討するため、歩行者中心の公共空間の確保と活用可能性について検討するとともに、交通規制実施に伴う交通影響について調査する。

#### 実施概要

項目	内容
日時	令和7年1月24日（金）正午から26日（日）正午まで
規制区間	水無川沿い市道6号線（秦野橋～平成橋）
内容	交通規制及び歩行空間の創出、交通量調査、アンケート調査の実施



# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (3) 社会実験の概要について（社会実験の実施に係るタイムライン）

月	日	時間	内容
1	24 (金)	7:00~19:00	交通量調査
		9:00	担当職員 現地到着
		9:00	規制内容に適した交通標識の設置開始
		11:00	交通標識の設置完了 ※規制開始まではカバーによる目隠し
		11:45	警備員配置完了
		12:00	<b>規制開始</b> ※社会実験実施中(交通規制実施期間)は市担当職員が交代により終日常駐
		12:10	仮の規制資機材としてバリケード、カラーコーン等設置完了
		12:45	ガードレール設置開始(10トンユニック車2台稼働)
		16:30	ガードレール等設置完了、歩行者通路開設
	25 (土)	7:00~19:00	交通量調査
		終日	終日規制
	26 (日)	8:30	歩行者通路閉鎖
		8:50	ガードレール等の撤収開始(10トンユニック車4台稼働)
		10:45	ガードレール等の規制資機材の撤去完了
12:00		交通標識撤去完了 <b>規制解除</b>	

# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (4) 交通量調査について

交通規制区間周辺の交差点（6カ所）において、交通量調査（3項目）を実施

調査期間	令和7年1月24日（金）、1月25日（土）※両日とも7:00～19:00
------	--------------------------------------

### 調査内容

①自動車交通量調査
四輪自動車を対象に交差点流入部における通過車両を方向別、時間別に人手観測
②※滞留長・渋滞長調査
毎正時（00分頃）に各流入部の滞留長と渋滞長を計測
③信号現示調査
交差点の各信号における現示をストップウォッチで計測

#### ※ 滞留長

観測流入部の信号が「赤」から「青」に変わる瞬間の停止線から最後尾停車車両までの距離

#### ※ 渋滞長

滞留長で観測した車両が、その青信号で捌け残った場合、停止線から滞留長で観測した車両までの距離

### 調査地点（6カ所）





# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (5) 交通影響について

### 交通量調査の各観測地点における渋滞長（1月24日（金）18:00の状況）

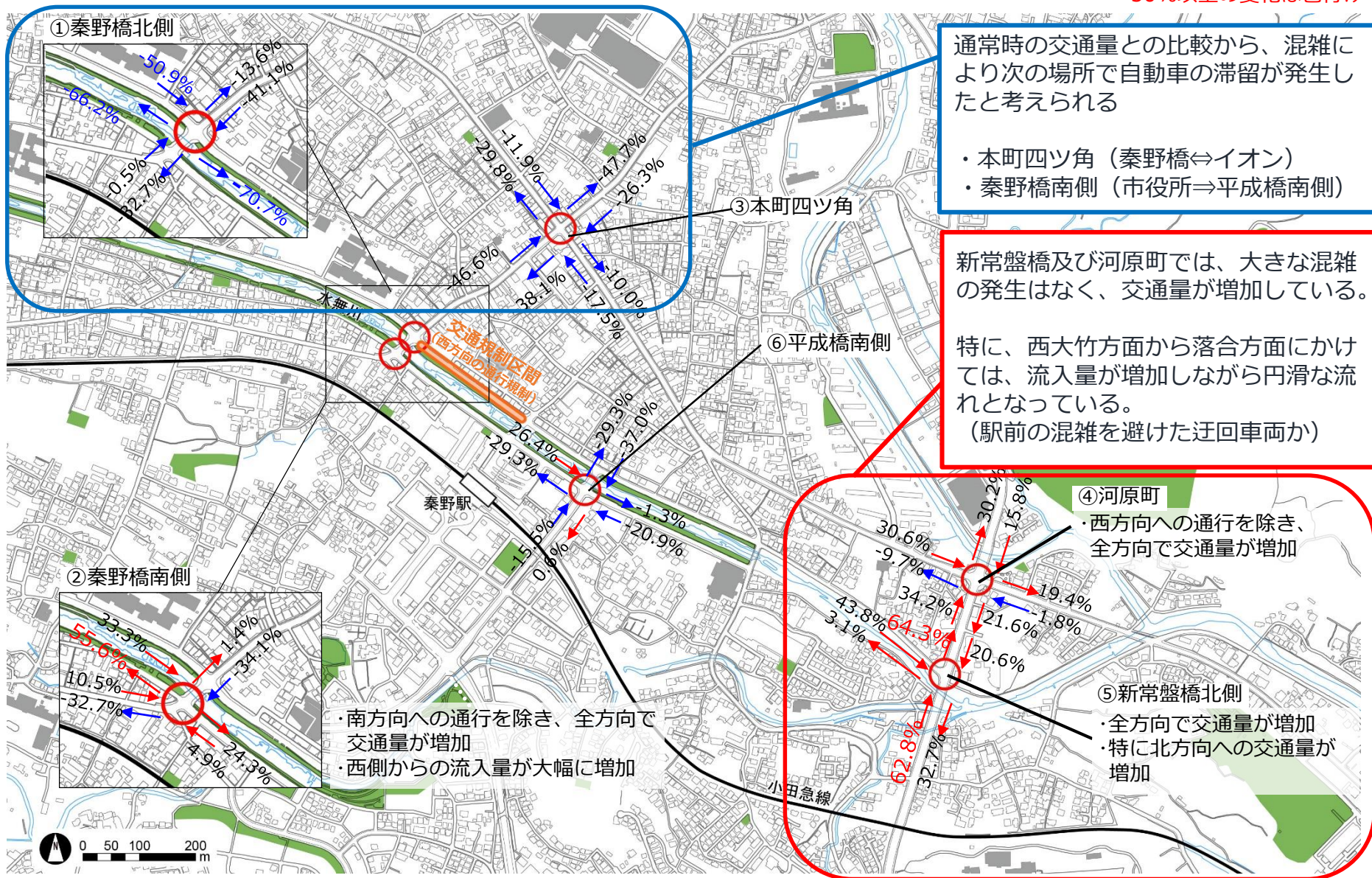
交通規制の東端となる平成橋交差点を中心に混雑が発生し、夕方には富士見橋の近くまで渋滞した。また、規制区間の迂回により、秦野橋南側交差点や本町四ツ角などで混雑が発生した。



# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

参考 交通量調査結果について (1月24日 (金) 18:00)

50%以上の変化は色付け



通常時の交通量との比較から、混雑により次の場所で自動車の滞留が発生したと考えられる

- ・本町四ツ角 (秦野橋⇄イオン)
- ・秦野橋南側 (市役所⇒平成橋南側)

新常盤橋及び河原町では、大きな混雑の発生はなく、交通量が増加している。

特に、西大竹方面から落合方面にかけては、流入量が増加しながら円滑な流れとなっている。  
(駅前の混雑を避けた迂回車両か)

**④ 河原町**

- ・西方向への通行を除き、全方向で交通量が増加

**⑤ 新常盤橋北側**

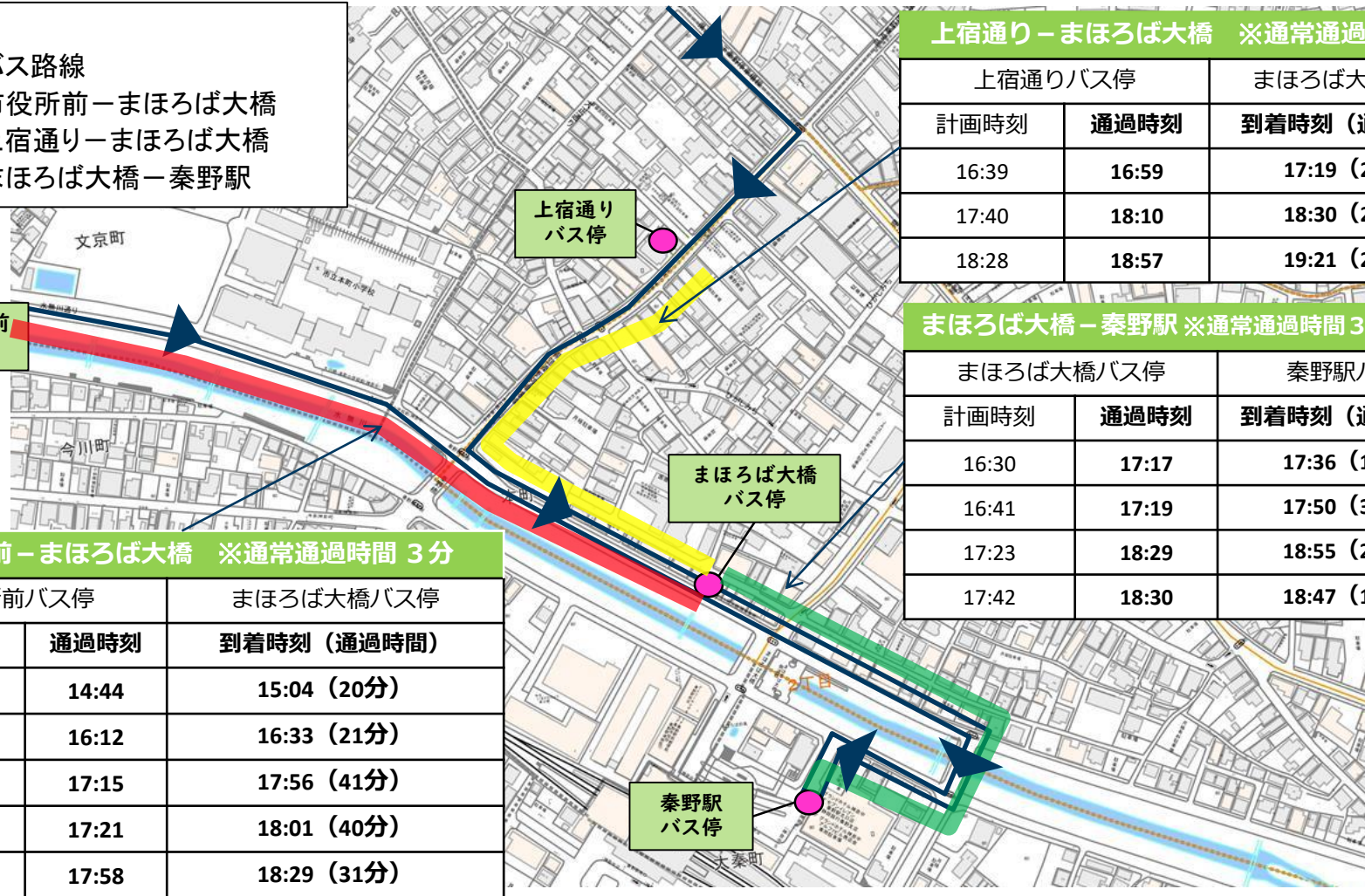
- ・全方向で交通量が増加
- ・特に北方向への交通量が増加

# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (6) バスの遅延状況からみる通過時間について (1月24日 (金))

凡例

- バス路線
- 市役所前－まほろば大橋
- 上宿通り－まほろば大橋
- まほろば大橋－秦野駅



### 上宿通り－まほろば大橋 ※通常通過時間 2分

上宿通りバス停		まほろば大橋バス停
計画時刻	通過時刻	到着時刻 (通過時間)
16:39	16:59	17:19 (20分)
17:40	18:10	18:30 (20分)
18:28	18:57	19:21 (24分)

### まほろば大橋－秦野駅 ※通常通過時間 3分～5分

まほろば大橋バス停		秦野駅バス停
計画時刻	通過時刻	到着時刻 (通過時間)
16:30	17:17	17:36 (19分)
16:41	17:19	17:50 (31分)
17:23	18:29	18:55 (26分)
17:42	18:30	18:47 (14分)

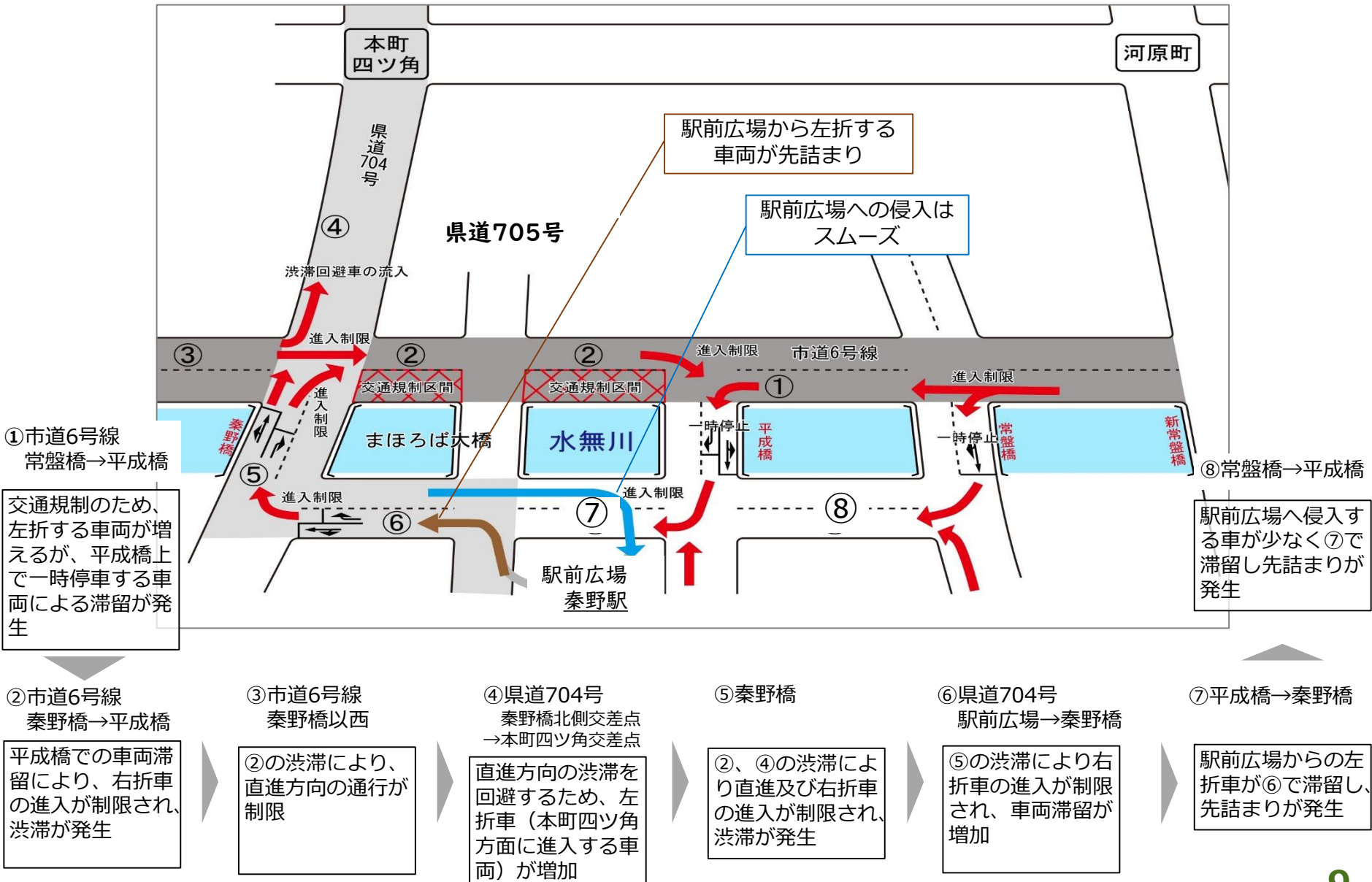
### 市役所前－まほろば大橋 ※通常通過時間 3分

市役所前バス停		まほろば大橋バス停
計画時刻	通過時刻	到着時刻 (通過時間)
14:40	14:44	15:04 (20分)
16:11	16:12	16:33 (21分)
16:54	17:15	17:56 (41分)
17:07	17:21	18:01 (40分)
17:20	17:58	18:29 (31分)

- ・平成橋交差点を起点とした混雑により、市道6号線や県道704号から秦野駅にかけて渋滞が生じた。特に、17時15分頃から、およそ20分間ほどバスが進行できない状況が発生した。
- ・バスの運行全体では、大幅に遅延した状態でのバス運行が積み重なり最大遅延時間は約90分となった。また、バスの遅延の影響により、11便が欠車となった。

# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (7) 渋滞発生フロー

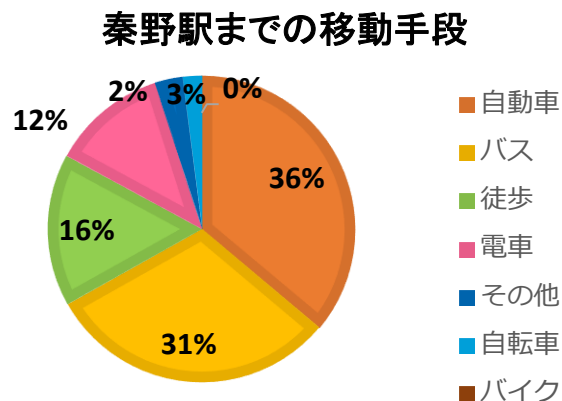
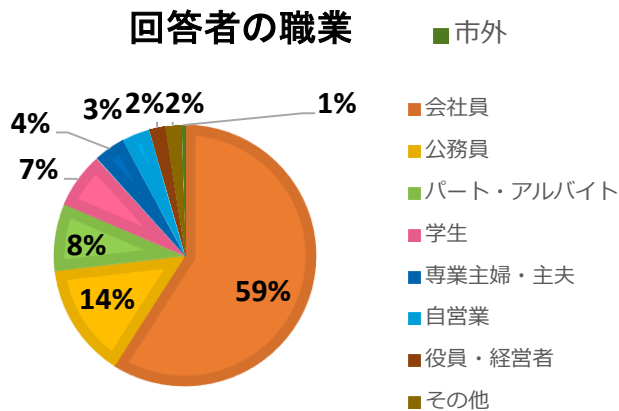
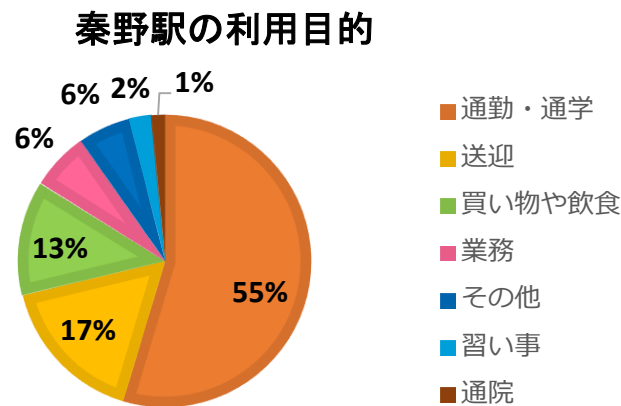
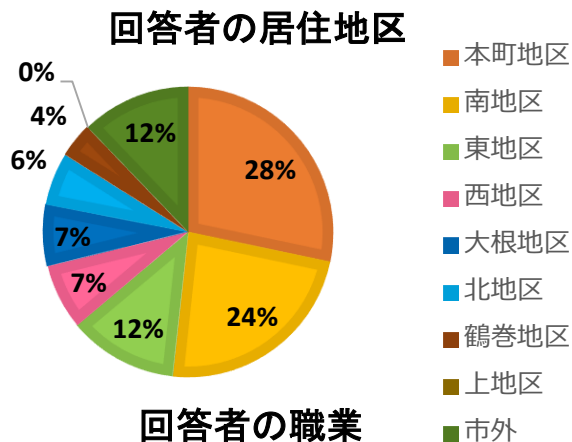
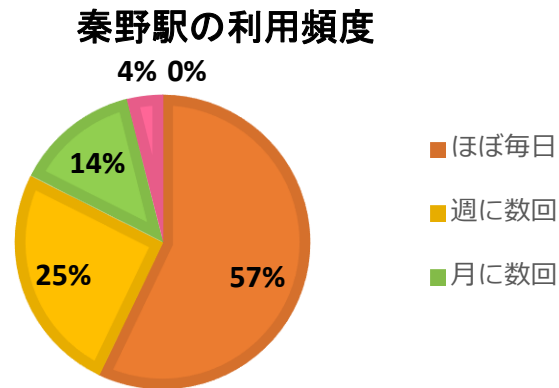
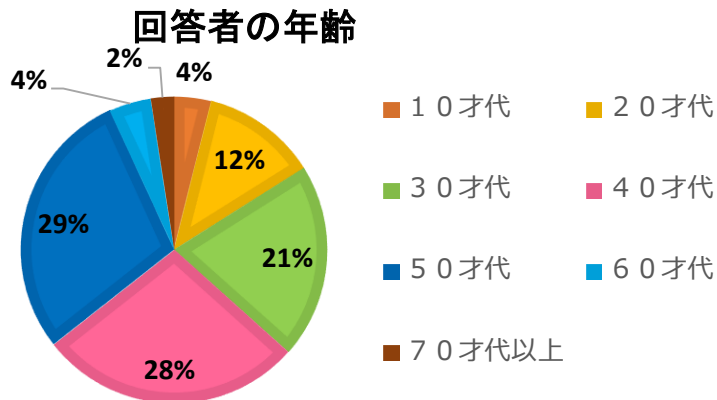




# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (8) アンケート調査結果 (回答者の属性)

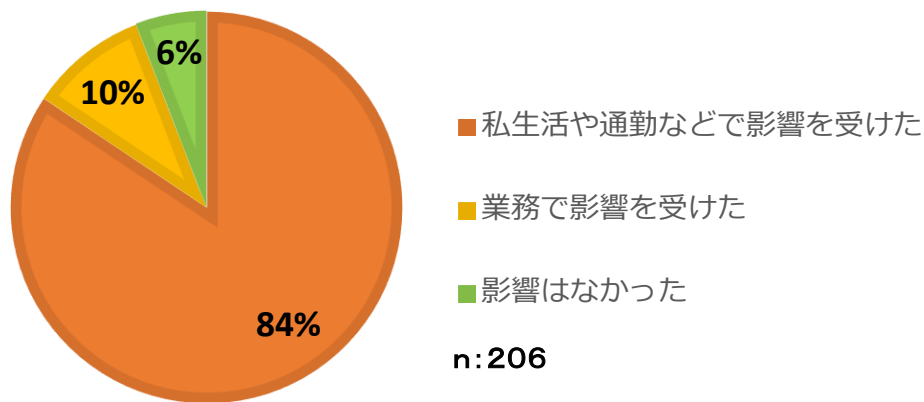
n:206  
※各グラフ



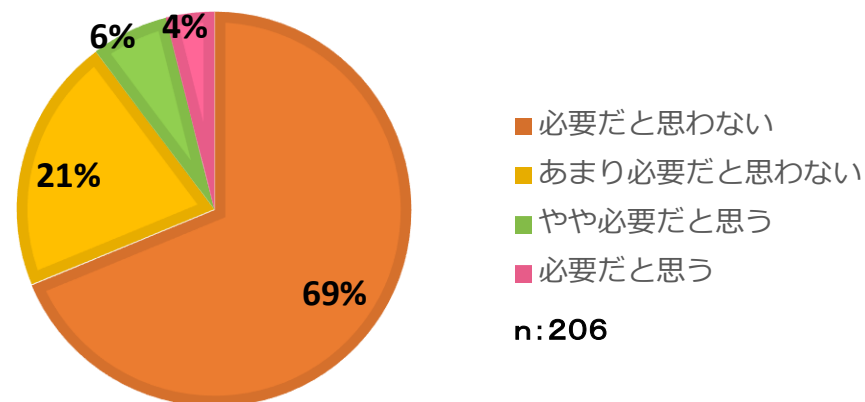
# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (8) アンケート調査結果 (駅前の公共空間で重視すべきこと等)

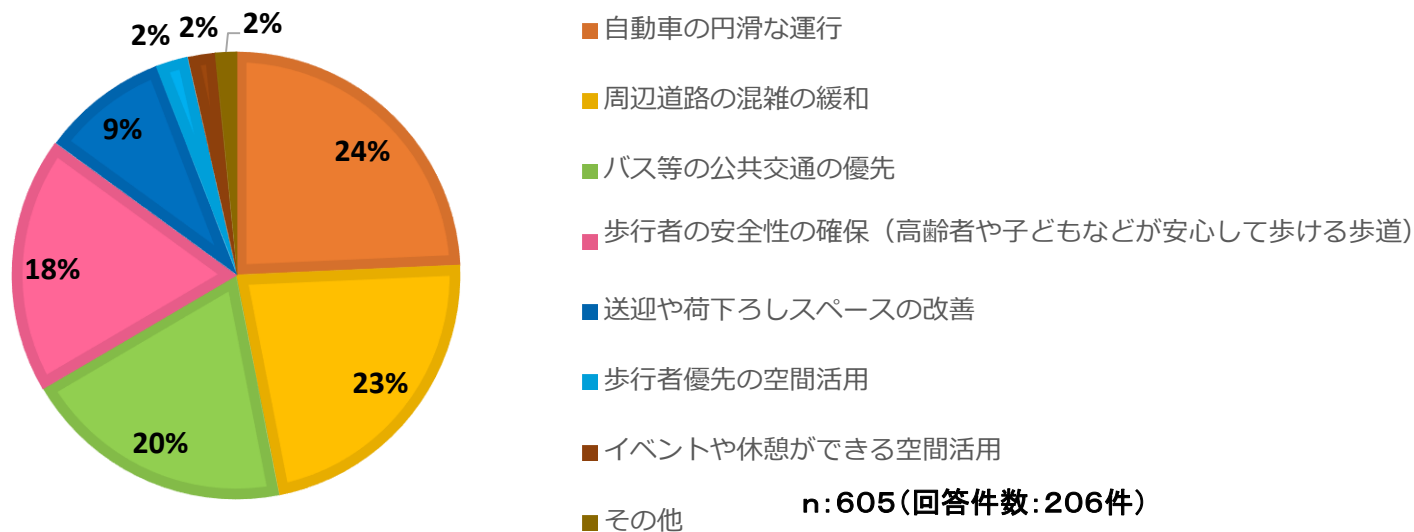
### 社会実験の影響の有無



### 水無川沿い市道を人のための空間として活用することの必要性



### 駅前の公共空間で重視すべきこと(複数回答可)



# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (8) アンケート調査結果 (自由記述の主な内容)

### 1 社会実験による主な影響

- ・渋滞により帰宅時間や子どもの送迎、業務等が遅れるなどの影響があった。
  - ・渋滞でバスが遅れ、到着したバスも混雑し、駅のバス乗り場も人があふれていた。
  - ・迂回の自動車が住宅街（乳牛通りなど）に流入してきたため歩行に危険を感じた。
- (意見)
- ・普段から交通量が多い場所で交通規制をする必要はないのではないか。
  - ・歩行空間だけ確保しても意味がないのではないか。
  - ・雨天時にはさらに交通量が増えるため今回の規制は難しいと思う。
  - ・広島で体験した「かわまちづくり」のように、秦野でもゆっくりと憩える川の街ができれば良い。

### 2 人のための空間活用が必要と思わない理由

- ・交通量の多い場所のため、人の空間を拡大する余地がない。
- ・（自動車やバスの移動で遅延が生じることは）生活に支障が出るため、公共交通や自動車などの交通の流れを止めてまで行うことではない。
- ・交通に影響のない河川敷を活用すべき。遊歩道に降りる階段や出入口を増やしてほしい。
- ・バスや自動車での通勤、通学が多いため、交通規制ではなく、バスや送迎の車を待てる駅の環境整備を優先すべき。
- ・駅前の道路の混雑を日々感じている。夕方のバスは大抵時刻表通りに来ず、10分くらいの遅延はよくあること。
- ・渋滞が発生すると事故が増えると思う。
- ・先に道路事情を改善してほしい。
- ・歩行空間の検討を行うのであれば、完全に歩行者天国にしないと車が走っていて危ない。

# 1 水無川沿い市道6号線一方通行規制を伴う社会実験実施結果について

## (9) 課題及び今後の進め方

### ■ 社会実験をきっかけに挙げた意見

#### 交通を重視する声

- ・公共交通や自動車を利用した通勤・通学、送迎に係る利用者への配慮
- ・特にバスの円滑な運行
- ・日常からバスの遅延が発生しており不便に感じている声もあり、駅前交通の円滑化の必要性

#### 歩行空間を利用した人の声

- ・（渋滞を招いたが）自転車を気にせずに歩ける広い歩道は安全性が高い
- ・駅前の河川敷は狭いところもあるため、ペットの散歩やジョギングをしたくなるなど、単に歩いて通過するだけでない人のための空間ができると良い。



### ■ 社会実験によって浮かび上がった駅前道路の利用実態について

#### 駅ロータリー ・通過車両

- ・平成橋北側から秦野橋北側を通過する車両で、駅ロータリーに進入する車両は、平成橋北側から秦野橋北側に進む車両のうち1割に満たない状況であった。
- ・日ごろから市内の東西を移動する際には、水無川沿いの道路がスムーズに通過できることから、通過車両が多いと考えられる。



### ■ 一方通行規制の考え方

#### 一方通行規制の 考え方

- ・現在の交通環境では、今回実施した一方通行の規制による、歩行空間と車道の再配分を行うことは、市民生活に影響が大きいため、現実的ではない。

### ■ 社会実験を踏まえた駅前交通の現状と今後のあり方

#### 都市形成の過程

- ・これまでの都市形成の過程では、水無川沿いに公共施設を配置するとともに、交通軸の重要な幹線道路として、整備・維持してきた。
- ・そのような道路のあり方のままでは道路が駅前と市街地を分断し、さらに雨天時など交通が集中すると、渋滞を招きやすい状況である。

#### 今後検討すべき事項

- ・駅利用者が駅にアクセスしやすい環境づくり
- ・駅前の通過交通の郊外への誘導
- ・人のための空間の創出を踏まえた公共空間の再配分

